

研究開発・社会実証プロジェクト部会の活動について

主な御意見

● 自律型モビリティシステムに関する御意見


- 総務省等における自律型モビリティシステムに係る研究開発等の成果を社会実装にまで進めるための議論が重要。また、現実社会に適用した際の効果を実証・検証するプロジェクトの推進が重要。
- 自律型モビリティシステムに関する今後の研究開発の方向性について検討が必要。

● スマートシティに関する御意見

- 位置情報の活用についての検討の実施。
- 見守り、インフラ保守、交通流・物流改善等の多様な分野における社会実証に向けたIoT通信プラットフォームについての検討の実施。

● その他御意見

- 社会インフラのセンシングなど過酷な環境にさらされる機器のパッケージ、モジュール技術開発が必要。
- その他、インフラや災害対策への応用 等



当面の部会活動の方向性

- 自律型モビリティプロジェクトにおいて技術開発・実証の検討を推進
- スマートシティプロジェクトにおいて社会実証に向けた技術、課題の検討を推進
- その他、会員のイニシアティブにより形成されたプロジェクトについて、部会長の承認により連携を推進

プロジェクトの設置について

- 研究開発・社会実証プロジェクト部会の下に以下の2つのプロジェクトを設置し、検討を推進。
- それ以外にも、会員のイニシアティブにより形成されたプロジェクトについて、部会長の承認により連携を推進。
- 各連携プロジェクトの成果は、プロジェクト実施者の了解を得てフォーラムで情報共有するとともに、对外発表を行うことが可能。また、プロジェクトでの具体的検討結果を技術戦略検討部会における国際標準化へ向けた議論へ展開していくことが可能。

スマートIoT推進フォーラム

研究開発・社会実証プロジェクト部会

部会長 下條 真司（大阪大教授）

【例】

自律型モビリティプロジェクト

【例】

スマートシティプロジェクト



【主な検討テーマ】

- 自律型モビリティシステムの早期実現に向けた技術開発、実証 等
- スマートシティの社会実証に向けた技術、課題の検討 等

プロジェクト名	活動内容・アウトプット【例】
自律型モビリティプロジェクト	<ul style="list-style-type: none">● 自律型モビリティシステム(自動走行技術、自動制御技術等)の開発・実証の推進● 自律型モビリティシステム(電気自動車、電動車いす等)のネットワーク制御における高信頼化、緊急時の自動停止、再起動等の安全対策、衛星測位等も組み合わせた移動の高精度化を実現するための技術開発及び実証実験を推進● 自動走行に必要な不可欠な高度地図データベースの高効率なリアルタイム更新技術や各車への高効率情報配信技術の研究開発及び実証実験の推進(通信事業者・ベンダー等の連携等)
スマートシティプロジェクト	<ul style="list-style-type: none">● スマートシティを実現する技術・社会実証の推進● スマートシティに関し社会実証を推進すべき分野、実証モデル及び活用すべき技術の検討● 社会実証を推進するための課題の整理と対応の検討(通信事業者・ベンダー等の連携等)

※上記のプロジェクトについては、プロジェクトへの具体的な貢献が可能な会員により推進。

平成28年
3月4日

研究開発・社会実証プロジェクト部会 第1回

- ・部会運営方針、プロジェクトの設置について 等



- ・自律型モビリティプロジェクト、スマートシティプロジェクトの具体的な実施計画の策定
- ・あわせて、会員のイニシアティブにより形成される連携プロジェクトの募集



- ・各プロジェクトにおいて具体的な活動を開始

プロジェクト設置
各プロジェクト運営方針策定

各プロジェクトの
推進